

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞  
役に立つ税

船橋市立湊中学校

第三学年 羽 澄 星 弥 瑤

「渋滞税」

これは、イギリスにある税金です。市街地など特定地域を通行する車両にかけられる税金で、渋滞の緩和や大気汚染の改善につながることを期待して、かけられた税金だそうです。実際にロンドンの渋滞量は三十パーセント緩和され、交通量が十五パーセント減少したという一定の効果が出ているそうです。この税金は、国も税金を集めることができるし、渋滞の緩和にもつながるといって一挙両得な税金だと思いました。私はこのような税金が日本にもあったら良いなと思いました。

そして私は「スマホ税」というのを考えました。理由は三つあり、一つ目はスマホによる電磁波です。私たちはスマホを使うたびに電磁波を浴びています。弱い電磁波だが、長時間にわたり浴び続けることがあると、人間

が本来持っている電気システムを狂わせてしまうので不整脈、自律神経失調症、自閉症、学習障害などにつながります。なのでスマホを使う頻度を低くすれば人の健康にもつながるのではないかと私は考えました。

二つ目の理由はスマホを使うときにSNSを通じた誹謗中傷やアプリ、ゲームなどの利用による高額請求などさまざまなトラブルが発生してしまうのです。それらの防止にもつながると思います。

私が考えた三つ目の理由としては、スマホがもたらす環境負荷です。今は世界で地球温暖化が問題になっています。スマホは世界で最も人気のある家電製品であり、利用されているスマホは約四十五億台に上ります。しかしこれら約四十五億台のスマホによって一億四千六百万トンの二酸化炭素が排出されています。そして、二酸化炭素は地球温暖化の一

番の原因となっております。なので、「スマホ税」によってスマホを使わない人が多くなり、このような小さな行動でも地球温暖化を防止する第一歩につながると 생각합니다。

これら三つの理由で私はもし日本に「スマホ税」があれば良いなと思いました。実際日本にはこのようなとても「役に立つ」税金がたくさんあります。私は昔、税金は少ない方がいいと考えていましたが、税金について色々しらべてみると、税金に対する思いが変わり、税金を「負担」から「生きていくためのもの」「幸せにさせてくれるもの」という考えになりました。このような考えで生活の中の税金を見ると、とても「役に立つ」が実感できました。私は、国民一人一人が国の税について知り、自分や国の将来のために、少しでも払いたいという気持ちになってほしいと考えました。